



和歌山市が進捗度 1 位 次世代育成の行動計画

12 年 07 月 26 日 [政治・経済]

次世代育成支援対策推進法に基づき、各自治体が子どもの健全育成や子育て支援の目標などをまとめた「行動計画」について、東京の N P O 法人エガリテ大手前が主要 82 都市（政令市、中核市、東京 23 区）を評価した第 5 回進捗（しんちよく）状況ランキングで、和歌山市が総合第 1 位となった。

同 N P O の発表によると、今回のランキングは、平成 21～26 年の 5 年間について各指標の改善目標の難易度、5 年間の改善目標に対する 1 年目（22 年度）の達成度、の 2 つの側面を評価した。

市子育て支援課によると、同市は、保育所の待機児童数 0 人から「通常保育」の評価が 1 位だった以外、ベスト 3 に入る項目こそなかったが、「学童保育（放課後児童健全育成事業）」や「つどいの広場（地域子育て支援拠点事業）」など 6 項目が 15 位内に入るなど高評価を受けた項目が多く、総合 1 位につながったと見られる。

前回は 40 ある中核市で総合 4 位の評価だったが、今回から政令市などを含めたランキングとなる中での 1 位獲得を、同課は喜んでいる。

今回評価が高かった項目の現状を 26 年度目標に対する達成度で見ると、学童保育の設置箇所数は、目標 65 に対し 23 年度が 63 で達成度 96・9%。利用者数は、目標 2 1 3 0 人をすでに 23 年度で超え、2 2 6 9 人。つどいの広場の設置箇所数は、目標 14 カ所に対し本年度で 12 カ所となっている。同課は「市が力を入れている分野への高い評価はありがたい。さらに充実させて、市の子育て支援の特色となるようにしていきたい」と話している。